

関東ふれあいの道を歩く(千葉)⑳海と森をつなぐみち

2023年6月23日池内淑皓

2022年12月4日(日)曇り、前回のコース⑱理想郷を訪ねるみちを歩き終えて、JR 鶴原駅には12時47分到着した。時間も十分あるし次の㉑コースは、行川アイランド駅が出発地であるから、鶴原から行川アイランド駅まで電車で行き、そこから㉑コースを歩いて、コース途中の安房小湊駅まで歩く事にした。

安房小湊駅から外房線で横浜に帰る。

後半のコースは駅から北へ4km歩き、内浦山県民の森が㉑のゴールとなっている。次回歩く事にする



「㉑海と森をつなぐみち」概念図 (首都圏自然歩道連絡協議会)



「㉑海と森をつなぐみち」安房小湊駅までの地図 (首都圏自然歩道連絡協議会)



行川アイランド駅 13:27 着。下車した人は私一人、アイランドへ行く人はいなかった



第一番目の見学地は「おせんころがし」 国道から離れて、藪の中を行く



「おせんころがし」 海岸の断崖上にあつた。碑文には「孝女お仙の碑」と書いてある。

豪族の一人娘お仙は、領民を苦しめる強欲な父に心を痛め、説得したが聞き入れない



領民を助けんがためこの海に身を投げ、父に諫言した(諸説あり)。悪夢から目を覚ました父は、民の為に尽くして行くと云う美談話。



ここも断崖絶壁、太平洋の荒波が押し寄せる



ここから先国道 128 号線はトンネルとなり、旧道はトンネルを迂回している



なかなか風情のある旧道で、道標もしっかりしている。次は誕生寺を目指す



トンネルの反対側に出ると、小さな上大沢の集落に出て、お仙ころがしの断崖が見える



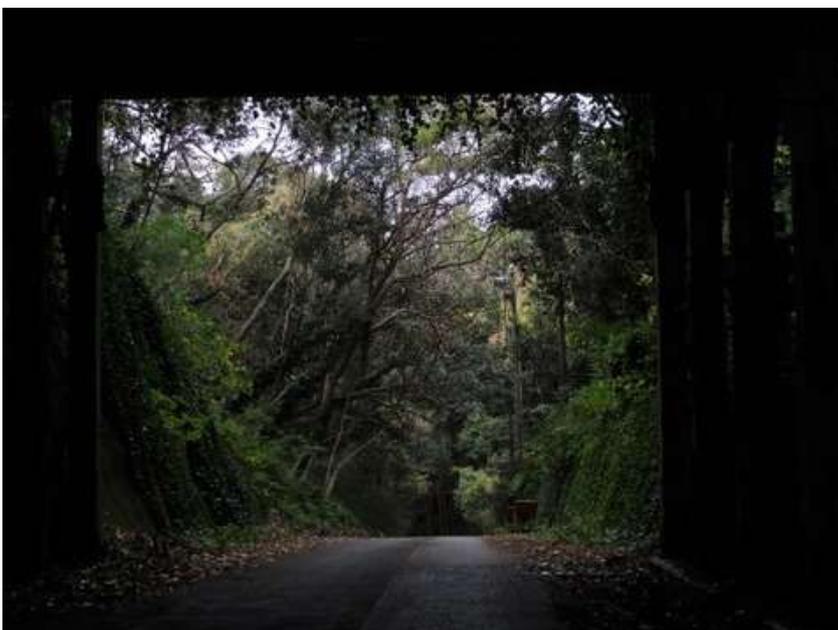
コースは国道を離れて海岸沿いの旧道を歩く。誰も通らない旧道を独り占め



海岸に沿って昔の道が作られている、快適なドライブコースだね



約 1km 海岸線が続く眺望満点の遊歩道だ、ここは断崖のため海岸には降りられない



入道ヶ崎(妙ノ浦)半島はトンネルで潜り、内浦湾に向かう



この道も素敵な道で暖帯林が繁茂する



杉の木にツタが絡まる奇妙な景観に会う



「誕生寺山門」 祓町(はらいまち)に出ると、誕生寺の門前が出る



「誕生寺本堂」健治二年(1276)弟子の日家上人みずらが日蓮生誕の地に建てた。
宝暦年間に火災で焼失したが天保13年(1842)再建した。国守里見氏も帰依している



折角ここまで来たのであるから、記念に一枚パチリ



「鯛の浦」鯛は国の特別天然記念物、餌付けされた鯛が遊覧船の船辺に寄って来る



門前町を通り抜けて、内浦湾沿いに 30 分程歩くと今日のゴール安房小湊駅に着く



本コースは、ここから更に山に向かうのであるが、切りが良いのでゴールとした。
15 時 44 分の特急に乗れば東京駅には 17 時 40 分に着く、ビールを買い込んで、頑張ってくれた
我が足に乾杯しよう

[参考タイム] 鶴原駅(13:18)→行川アイランド駅(13:30)→おせんころがし(13:35-13:40)→誕生寺
(14:30-14:40)→安房小湊駅(15:10-15:44)

この項続く

「関東ふれあいの道(千葉)②海と森をつなぐみち」(継続)

2023 年(令和 5 年 4 月 9 日)(日)年が変わり、暖かくなったので続きを歩く



横浜を朝 7 時に出れば、安房小湊駅には 10:15 に到着する



県道を内浦山県民の森に向かって歩くが、この道は地元で「悟りの小径」と言う名がつけられていて、



要所、要所に目的地の距離と地図が表示されて、とても分かり易い



従ってこの区間、関東ふれあいの道の道標はない、しかし



歩道がなく路側帯の中を歩く事になるが、仕方がない。地図は車に乗る人の為なのか



駅から1時間ほどで、内浦山県立公園に到着する、山桜が咲いていた



公園の中に標石がある。行川アイランドへ 9.0kmとある



内浦山県立公園に設置されている「⑳海と森をつなぐみち」案内板
ここがコース「⑳海と森をつなぐみち」ゴール

[コースタイム] 安房小湊駅(10:20)→浦内山公園(11:30)ゴール

この項完

「関東ふれあいの道を歩く(千葉)21 あじさいのみち」に続く